

マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	1年前期	単 元	学 科	教科名	応用学科 1
科 目	—	教科書等 持参品	整備科時の教科書		発行日
総時限	19				教科
総時間	30.4				担当
			2026年3月24日		
					松本良和

1. 指導教員の実務経験
該当
 非該当

自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車の構造・作動について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

自動車各部の点検、分解、内部構造理解、組み付け、調整。
 完成車の出力測定、実走行することで、車両整備をトータル的に理解を深める。
 進行状況により、残業が発生する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

整備科の授業で学んだ知識を元に、1台の車の完全分解、組み付け、調整を行い、構造や整備技術をトータル的に理解を深める。
 学生が作業した車両を実際にサーキットに持ち込み、学生が運転チェックを行い、自分の作業した車両が問題なく、機能しているか確認をする。また不具合が発生した場合は、故障探求、修理を実施して車両を良好な状態にする。
 状態にする。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上
 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

- ・基礎授業で学んだ事を復習しておくこと

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。

マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

[illegible]

※ 期末試験は授業時間に含まない